

☉ 議会だより やまもと

Vol. 198 令和4年
11月1日発行



祖父母参観日（やまもと幼稚園）

第3回臨時会

会期 7月21日

第3回定例会

会期 8月31日

～ 9月16日

- 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2～6
特別委員会、総括質疑
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P7～13
議員7名が我が町政を問う
- 臨時会・・・・・・・・・・・・・・・・P16
- 委員会報告・・・・・・・・P17
- 会議等出欠状況・・・・・・・・P19

令和3年度決算 成果は？ 効果は？

決算審査特別委員会 意見を付し「認定すべきもの」

令和3年度各種会計（7会計）は、9月7日に決算審査特別委員会（大和晴美委員長）を設置し5日間にわたる審査を行いました。
また、9月16日の本会議で次の意見を付し認定しました。

意見

1 復興交付金、町税の減少が進んできている。
安定した町政運営を図るため、財政計画を見直すとともに、入札制度を見直し高落札の現状改善、及びふるさと納税返礼品や、より多くのブランド認証品等を活用する等、ふるさと納税制度の拡充を図る等の必要な財源の確保に努めることを求める。
(令和3年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について)



2 令和2年度決算認定に際し、付した意見の内容が令和3年度事務事業に反映されていない。
今までの意見を反映した取り組みを進めることを求める。

監査委員 決算審査意見（要旨）

令和3年度の各会計決算及び各種基金の運用状況は、いずれも適正であると認められた。

財政の各指標は健全エリア内になっているとはいえ、財政力指数を見ると、本町は宮城県市町村全体から見て下位のグループに位置し、決して財政力が強いとは言えない。

復興事業の後処理が若干残っているものの、復興事業が終息した後、本町の発展軌道に早期に乗せるためにはさらなる財政力の強化が必要となってくる。

自主財源となる税収の落ち込みが続く中、滞納未収額の縮減にさらに力を入れるなど税収の落ち込みに歯止めをかけるとともに、将来の発展のためには、本町の強みと言える豊かな自然、豊かな歴史文化を生かし、加えて災害対策の強靱化を図るために計画的な財政出動が求められる。

そのためにも地域の特性を生かしたビジネスモデルの創出が急がれる。
今後とも第6次総合計画に掲げた各種の施策目標を見失わずに追求し続け、住民が安全、安心に暮らせる町づくりに取り組まれるよう強く望むものである。

(監査委員 齋藤 忠裕 阿部 均)



意見書を提出する齋藤代表監査委員

令和3年度決算 意見を付し「認定」

決算概要

一般会計及び4特別会計を合わせた歳入歳出決算額は、歳入総額180億9,566万円、歳出総額161億1,442万円となっています。

歳入歳出決算額は前年比で減となっており、昨年同様自然災害や新型コロナウイルス感染症による、復旧・感染関連に要する費用の増大があったものの、歳入歳出差引額は19億8,124万円の黒字となりました。

また、企業会計では水道事業会計で4,738万円、下水道事業で1億2,460万円の純利益となりました。

令和3年度 各会計決算一覧

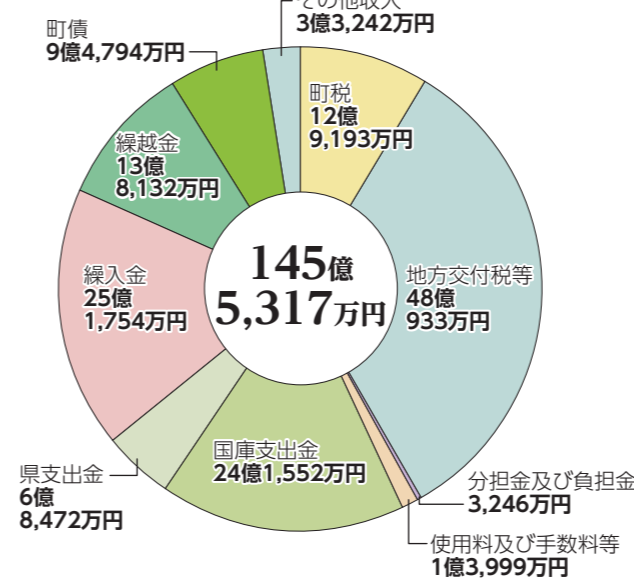
会計名	歳入	歳出
一般会計	145億5,317万円	126億9,428万円
特別会計		
国民健康保険事業	18億4,591万円	17億5,703万円
後期高齢者医療	1億7,503万円	1億7,229万円
介護保険事業	15億1,684万円	14億8,611万円
巨理地域介護認定審査会	471万円	471万円

水道事業会計	収益的収入	3億9,474万円	収益的支出	3億4,736万円
	資本的収入	9,424万円	資本的支出	2億2,833万円
下水道事業会計	収益的収入	5億9,286万円	収益的支出	4億6,826万円
	資本的収入	3億3,587万円	資本的支出	6億2,348万円

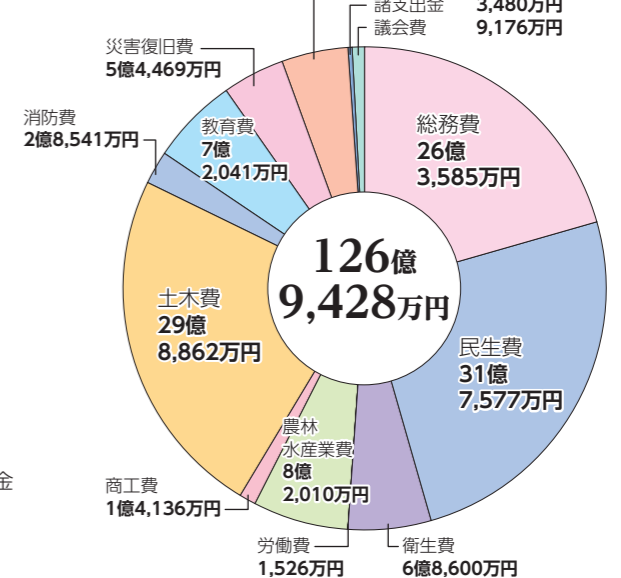
定例会概要
第3回定例会は、8月31日から9月16日までの17日間の日程で開催され、決算認定、補正予算、条例、契約、人事案件など、25件（うち議案第41号は取り下げ）を審議しました。
令和3年度の決算については、一人が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会に付託され、5日間にわたり審議や現地調査を行い、意見を付し、全ての会計を認定しました。
また、その他の議案も原案どおり可決、同意しました。
一般質問では町行政全般にわたり、7人の議員が町長と教育長に質問を行いました。

一般会計決算内訳(グラフ)

【歳入】



【歳出】



目で見える 決算

町内保育園支援事業



4,287万円

移住・定住支援補助事業

～宮城県山元町移住・定住支援補助金～
交付申請期限は令和4年3月31日までです!
 「新婚世帯・子育て世帯・新規転入者」のマイホーム取得等を支援します!

新婚・子育て世帯・新規転入者で住宅の建築・購入・リフォームを予定している方、新たにアパート等に同居した方で、3月31日までにそれぞれの契約を締結した場合は、子育て定住推進課にご確認のうえ、補助対象となる場合は令和4年3月31日までに交付申請の手続きをお願いします。4月1日以降の補助金の交付申請の受け付けが出来なくなりますのでご注意ください。

【新制度の概要】

補助要件	新築住宅取得	中古住宅取得
新婚・子育て世帯	220万円	130万円
新規転入者		

※写真は令和3年度事業のチラシ

9,706万円

新型コロナワクチン接種推進事業



1億3,561万円

防犯灯設置・更新事業



542万円

磯浜漁港施設整備事業



1億1,944万円

旧坂元中学校災害復旧事業



6,061万円

災害廃棄物処理事業



1億3,904万円

町民バス事業



6,032万円

特別委員会質疑

○職員体制

議員 人件費が行政改革以前のベースに戻ったように見受けられるが、どう判断しているのか。

町長 職員は数人増えている。業務の内容を確認し、組織再編と適切な職員数を検討中である。

議員 教育委員会に建築士などの専門職の配置を考慮すべきではないか。

副町長 3年度は2名だったが、1名が派遣職員で年度末終了となり、現在は生涯学習課に再任用職員1名の状況である。技術職は毎年募集しているが、中々応募がない。今後も、手を尽くし募集していく。

○東部地区基盤整備

議員 非農用地を含むモデル事業だが、農地の不耕作地が多いのでは。

町長 現状では、町一番の課題である。換地を終了させることを優先している。

議員 換地完了後の更新なる土壌改良と誰に何を栽培していただくかが重要では。

町長 農用地、非農用地とも土地の管理を含め、検討事項としていきたい。



○教育関係

議員 心のケアハウスについて、方策の転換は考えているか。

教育長 子どもたちに大きな役割を果たしており、適した場所があれば移転を積極的に考えたい。

議員 校庭の雑草が多く、一部企業の協力や使用団体などで除草を行っているが、他の公共施設同様に予算化すべきでは。

教育長 雑草が生えにくいように、表面の土を水はけのよいものに変えるなどした。除草は企業の協力もあるが、人員確保が難しい状況にあり、コロナ感染や経費も踏まえ、もう少し調査し、対応する。

○環境関係

議員 放射能汚染土の最終処分について、国の責任で処分を求めるときでは。

町長 国に機会あるごとに強く要望しているが、最終処分の方角性が出されていない。早急な対応を今後も要求していく。

○保育行政

議員 全国的な問題である保育士不足解消のため、一般行政職の職員を配置し、本来の業務に専念させる考えは。

町長 保育士不足は、重要な課題であり、提案も含め、職員が余裕のある体制をとりたい。しっかりと体制整備を図りたい。

議員は決算のココに着目した

遠藤 龍之 議員

基金有効活用で被保険者負担軽減を

町長 保険料の抑制に役立てていきたい

議員 民生費の不用額に問題はないか。

町長 緊急通報システム事業については、14.5%という低い結果であった。今後は、広報の方法や、必要な方に見守り支援サービスを提供できるように、サービス内容等の見直しを検討する。

議員 介護保険事業特別会計の決算剰余金と財政調整基金の現在高について、どう評価し、今後に生かそうとしているか。

町長 決算剰余金については、保険給付費をこれまで以上に厳しく見込んだことなどにより、収支額が低減、結果、基金残高は前年比約4千900万円増の約2億6千万円となる見込みである。有効な基金の活用については、保険料の抑制に役立て、被保険者の負担軽減を図りながら、保険給付の適正化等に繋げていく。

議員 高齢者の運転による痛ましい自動車事故を無くすため、交通安全啓発・実践対策として、運転免許証の自主返納をした方にシニアカー購入費補助をする考えはないか。

町長 先進自治体の取り組みなどを参考に今後、調査研究をしたい。

一般質問 我が町政を問う

- ◆大和 晴美 議員 P7
・運転免許証の自主返納促進について
・サニタリーボックスの設置促進について
◆菊地 康彦 議員 P8
・町の活性化について
◆高橋 真理子 議員 P9
・空き家等対策について
・公営住宅長寿命化計画について
◆品堀 栄洋 議員 P10
・インボイス制度の導入に伴う町の対応について
・やまもと「ひまわり祭り」の今後の対応について
◆伊藤 貞悦 議員 P11
・中学校の運営について
・これからのまちづくりについて
◆岩佐 孝子 議員 P12
・今後のまちづくりについて
・活気あふれる地域づくりを目指して
◆遠藤 龍之 議員 P13
・行政執行体制の充実に向けて
・町営住宅（災害公営住宅含む）事業の取組について
・入札、契約制度について

○一般質問とは

町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます➡



免許返納者にシニアカー購入補助を

町長 先進事例を調査研究し、対応する

議員 高齢者の運転による痛ましい自動車事故を無くすため、交通安全啓発・実践対策として、運転免許証の自主返納をした方にシニアカー購入費補助をする考えはないか。

町長 先進自治体の取り組みなどを参考に今後、調査研究をしたい。

議員 群馬県安中市では、今年度からシニアカー購入費補助を始め、補助金は10万円を限度として、免許証を自主返納した際に65歳

以上の方を対象にしている。本町では、返納者への公共交通での支援は満70歳以上となっている。本町でも、自主返納をした65歳以上の方へ、シニアカー購入費補助を検討すべきでは。

町長 周りの先進事例を調査し、必要に応じて対応を進めていきたい。

議員 調査の中で、シニアカーのPRをしてはどうか。

町長 いろいろな状況

があるので、どこまで対応していいかはつきり言えないが、必要だとは認識している。

議員 本町では、高齢者の免許証の自主返納を促すために町民バス及びデマンド型乗合タ

クシーに関する優遇措置に取り組んでいるが、このほかに免許返納促進の策はあるのか。

町長 今のところ、これ以外には考えていない。



大和 晴美 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください



シニアカーでドアtoドア

男子トイレにサニタリーボックスを

町長 公共施設から順次、設置を進めたい

議員 病気や加齢による尿漏れで吸水パッドを使う男性が増えていることから、公共施設の男子トイレにサニタリーボックス設置する考えはないか。

町長 課題解決に取り組みながら、ひだまりホールやおもだか館、中央公民館など、利用者が多い公共施設から順次進めていきたい。

議員 男子トイレへのサニタリーボックス設置の際は、付近の目立つ場所に「サニタリーボックス設置トイレ」という表示をしてPRする考えはないか。

町長 設置した場合には、分かりやすいように表示をすべきと考える。

議員 ある大手電機チェーンでも男性用トイレにサニタリーボックスを7月より順次導入し、年内までの全店舗設置を目指している。町内のコンビニ、ガソリンスタンド等で男子トイレに設置を考える場合、民間企業への補助を考える考えはないか。

町長 まずは公共施設に設置を進めたいと思う。民間企業への補助までは考えていない。



議員 菊地 康彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

誰一人取り残さない町政で活性化を 町長 関係者と慎重に検討する

議員 「誰一人取り残さない」という町長の方針から、スポーツ少年団の活性化は重要では。
教育長 課題は認識している。加入団員増加、指導者育成に関して、他自治体等の取り組みを参考に研究する。
議員 学校施設の整備が悪く使えないケースや、サッカー場の復旧がされず、チームが無いため、子どもたちは他市町で競技を続けている。問題ではないか。
町長 学校はもともと教育の場であって、校庭をスポーツや団体に貸すのは難しい。ほかの子どもたちが校庭で遊

ぶことができな。その辺をご理解いただきたい。
また、サッカー場は、現状の中で整備する考えには至っていない。
議員 高齢者の健康寿命の延伸には、スポーツの重要性を認識しているか。
町長 体を動かすことは大事である。好きなことをできる環境を考えていきたい。
議員 パークゴルフ場の中止で、高齢者の生き甲斐と、健康寿命の延伸とする町の課題解決が残ったが。
町長 何らかの手助けは考えているが、パークゴルフ場をつくるには、様々な検討と、諸問題があり、絶対ありえない、必ずつくるとも言い切れない。
議員 パークゴルフは高齢者施策と言うことも忘れず検討すべきである。

議員 交流人口拡大策の観点で、茶室の活用と、今後の計画は。
教育長 町の重要文化財であると認識するが、交流人口拡大のため、仙台藩伊達家の関連施設等と連携し、広域的な視点で効果的な活用に取り組む。
議員 せっかく改修をするのだから、町の観光の名所とすべきでは。
町長 地域の皆様や関係者と意見を出し合い進めていく。
議員 地域間連携について、近隣市町には「ないもの」があるもの」がお互いにある。つくだけなく、その地域の特産品や、施設等を活用し合い、町おこしと、お互いが成長すべきでは。
町長 まだそのような連携は考えに及んでいないし、体制も出来ていない。



僕たち私たちにも予算をください

議員 農業分野では、資材の高騰が経営をひっ迫し離農の危機にあるが。
町長 国の動向を注視し、町独自の支援策を必要に応じ検討する。

議員 国に頼らず、タイムリーな支援が必要では。
町長 町の基幹産業への支援となると多額な支援となり、町民にも迷惑がかかる。

空き家等対策の取り組みに重点を

町長 本当に急がなくてはならない課題だ

議員 本町でも空き家等が増加しており、少子高齢化が進む中、対策にもっと取り組む必要があるのでは。
町長 2015年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、法整備が行われた。本町では、「空き家等活用情報提供事業実施要項」や、「空き地の除草除去に関する指導要綱」等に基つき対策に当たっている。

議員 「空き家等対策」の策定、「法定協議会」の設置等は急務では。
町長 防災、衛生、景観等の観点から、前向きに検討し、本当に急がなくてはならない課題である。総合的かつ計画的に取り組み、法定協議会は設置すべきと考えている。

年が経過し、二度にわたる地震による建物への被害等で、管理状況の悪化が見られる空き家が増えていると感じる。まず、空き店舗も含む調査を、できるだけ早い段階で進めるように検討したい。

議員 企業版ふるさと納税制度の活用や地域おこし協力隊の任命を図って、空き家を「お試し移住」や「シェアハウス」等に改修し活用する考えはないか。
町長 遅れている本町の空き家対策については、重要な課題と捉えているので、一つずつクリアしながら進めていく。地域おこし協力隊は、前向きに検討したい。

議員 「空き家等対策

町長 前回調査から5



議員 高橋 真理子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



町営住宅の今後は

既存町営住宅等の今後の計画は

町長 丁寧な説明とともに移転を促進

議員 耐用年数が経過している既存町営住宅4団地については、どのように認識しているのか。
町長 環境や安全面において最適な状態とは言い難いことから、将来的な解体撤去を見据え、復興公営住宅の空き住戸への移転を順次促している。その一方で、2度の地震において被害を受けた住宅困窮者への定期募集をしている。
議員 高齢であることや、引っ越し費用、家賃上昇等で、不安を感じている方もいるが。
町長 家賃上昇を抑えるための据え置き措置等を念頭に、丁寧な説明をすることで移転を促進していく。
議員 復興公営住宅を、目的外使用による障がい者等のグループホーム施設として、利活用の考えはないか。
町長 本来の住宅供給に支障が生じない範囲内において、希望する事業者と実現可能な具体策について話し合いを進めていく。



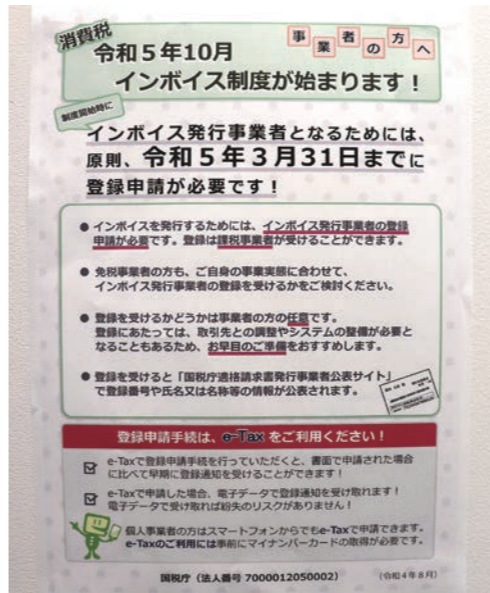
品堀 栄洋 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

インボイス制度導入に伴う対応は 町長 税務署等と連携を図り周知に努める

議員 インボイス制度に関する町民の理解や課題を認識し、具体的対策をどう講じていくのか。

町長 町としても、事業者ごとにこの制度に関する理解を深めていただく必要があると認識している。広報やホームページを活用し、制度の周知に努める。**議員** 免税事業者であるシルバー人材センター会員や、直売所、スーパー、販売店等に出荷している農漁業者への影響、課題を認識し、具体的対策をどう講じていくのか。



インボイス制度周知のチラシ（国税庁）

町長 来年10月の運用開始時に混乱を招くことのないよう、情報提供や勉強会などを開催し、理解が得られるよう働きかけていく。**議員** 町として広報やホームページで告知するとの回答であるが、いつ頃を予定しているのか。

インボイス制度
令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されます。適格請求書（インボイス）を発行できるのは、「適格請求書発行事業者」に限られ、この「適格請求書発行事業者」になるためには、登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。（詳しくは、国税庁HPをご覧ください。）

議員 「やまもとひまわり祭り」の今後の計画については、**町長** 農地の地力増進を目的として実施している。やまもとファームみらい野と連携を図り、来年度以降も開催できるように鋭意取り組むたい。

ひまわり祭りの今後の在り方は 町長 継続して開催できるように取り組む

議員 オープニングセレモニーをするべきでは。**町長** 開花が天候に左右される部分があるので、今後検討したい。**議員** 出店スペースの確保やトイレの設置を図る考えは。**町長** 地力増進であり、毎年場所が移動するため、駐車場、トイレなども含め、今後の検討課題である。

議員 ひまわり祭りの期間中、周辺施設にはどの程度の波及効果があったらされたのか。**課長** 昨年の同時期と比較し、震災遺構中浜小学校は来場者34%の増、夢いちごの郷は来場者、売り上げともに20%以上の増、直売場に隣接する飲食施設、レンタサイクルの利用も増加している。**議員** 町のイメージアップにつながる、

議員 費用対効果の高い祭りなので、警備員の増員も含め、事業費を増額すべきではないか。**町長** 交流人口拡大、経済波及効果にもつながるので、前向きに検討したい。

中学校部活動の地域移行への考えは

町長 大きな視点でとらえていきたい

議員 近い将来に予想される中学校部活動の「地域移行」について、どのように考え、今後どのような構想や計画のもとに推進するのか。**町長** 国からの指針等が未だ示されず、県においても対応は未定の状況にある。今後、関係団体や学校と情報を共有しながら、協議会を立ち上げるなど、具体的な計画策定に向けた協議を進めたい。**議員** 部活動の「地域移行」については、早

急に計画を進めないと、他の公共団体から遅れをとる可能性がある。生徒たちが著しく不利益を被らないよう、町や教育委員会で早めの対応・対策をすべきでは。**町長** 国からの指針及び県の指導等を考慮し、地域と連携を図り、生徒たちが部活動に前向きに取り組める環境整備をしていきたい。**議員** 地域型の部活動の基本について、活動日や施設設備、指導者

の確保、謝礼等も含めた経費の負担など、さまざまな問題が考えられる。また、生徒の「部活動離れ」も懸念される。具体的な対策は。**町長** 部活動が、「地

域移行」されることによって、今後は町づくりの一環として、その視点から考えて行かざるをえないが、現段階においては指針が示されておらず、どこまで出来るか、どのような方法で、という点も含め、国・県の方向性を注視しながら進めていきたい。



伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



効率的な活用を！

職員に研修を含めた自己啓発を

町長 自らが考え行動できるよう取り組む

議員 職員に「笑顔」が見られるようになったと感じるが、まだ自信を持っていくわけではないと思われ。職員の仕事内容を考え、長所を伸ばすための「自己啓発」の機会を設ける必要性があるのではないか。**町長** 内部研修や実地研修を含め実施している。職員として見聞を広めることを目的に町独自の研修の機会も設けている。今後も住民のニーズに的確な対応ができるよう、計画的な受講の機会を設定していく。そして、職員自らがやりがいを持ち、自律的・戦略的に地域のことを考え行動できるように計画的に取り組んで行く。



議員 岩佐 孝子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

安全・安心な保育所建設を望む

町長 将来を見据え検討していく

議員 子育てしやすい環境整備のため、小規模保育所が開設されたが、未だに待機児童がいる。この状況をどのように捉えているか。

町長 早期に解消できるように検討する。

議員 年々出生者数は減少しており、深刻である。町では、子育て世代に対し、幼稚園就園補助や移住定住者への手厚い補助金交付をしている。もう少しPRをすべきでは。

町長 周知徹底したPRはしている。

課長 幼稚園入園時に1人当たり2万円補助している。今後、さらに周知する。



子どもも大人もともに学ぼう

議員 つばめの杜保育所は、県で示した津波浸水区域内にあり、多くの子どもたちを安心して預かる環境整備が必要である。未来へ資本投資すべきでは。

町長 安全で安心した受入れは必要である。

議員 将来を見据えたところにお金をかけるべきでは。

町長 将来を見据え、きちんと思極め、必要

なところへお金をかけていきたい。

町の「子育てするなら」のキャッチフレーズに負けない施策を展開していかなければならない。

議員 保育所、学校のない地域に子育て世代は住もうという気にはならない。一極集中から脱却し、町全体のバランスを考え均衡あるまちづくりをすべきである。

活気あふれる

地域づくりを

町長 町民の声を反映していく

議員 町民の声を聞き町政に反映するため、小まめに町民との懇談会を開催する考えは。

町長 早い段階で各地区を回り、地域の方々の声を聞くことをスタートしたい。

議員 今年3月に小学生と町長との懇談会を開催していたが、実施する考えは。

町長 子どもたちの目で見て思っていること、感じていることを聞くということは非常に大事なことである。教育委員会、学校等と調整しながら機会を設ける必要はある。

議員 早期の実現に向けて取り組む考えは。

町長 コロナ禍もあり、行事調整や条件をクリアした中で早い段階で開催していきたい。

議員 創意工夫し前向きに取り組むべきである。将来を見据えた人材育成等へ先行投資し魅力あふれた町、住んでみたい町にしたい。

町民の声、一番身近な職員の声に耳を傾け、みんなが笑顔あふれる町づくりを求める。

公営住宅の家賃独自減免の継続を

町長 早い段階での決定を検討する

議員 町の総合計画では、町営住宅について、適正な維持管理に努め居住環境の維持保全に努めるとしているが、町営住宅事業の取組の現状は。

町長 「山元町公営住宅長寿命化計画」を策定し、その運用を図っている。公営住宅関連の事業は多岐にわたり、既存の町営住宅から復興公営住宅への移転集約と用途廃止の検討、

家賃独自減免の継続検討など課題が山積している。

議員 長寿命化計画にも明確に取り上げられ、町の課題のひとつにも家賃独自減免の継続検討を掲げているが、具体策が明確に示されていない。家賃減免の期間が迫る中、入居者の不安も増しているのので、期間継続の具体策を示すべきでは。

町長 経済的な支援と

して、いつまで続けられるのか、早い段階で示せるよう、検討を始めています。

議員 入居者の不安を払拭できるよう、早めの対策を講じることを求める。



議員 遠藤 龍之

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



入札制度を見直す時期ではないか

町長 年度当初を念頭に置き努力する

議員 公平性、透明性、競争性が求められている入札、契約執行に当たって、町民の皆さんから疑問が寄せられることが度々ある。町民の皆さんの利益優先の予算執行が求められているが、最低制限価格の設定、事業規模を大きくしての対応など、最近の入札、契約執行に問題はありますか。

町長 事業規模については、各担当課で工種や工期等を勘案し、工事ごとに決定している。また、最低制限価格の設定や、入札の執行については、関連法令等に基づき厳正に執行し、問題ないと認識している。入札の結果に関しては、数年来、平均落札率が上昇傾向にあり、法の範囲内においての工夫ができないか、今後見直しの余地があると認識している。

議員 山下第一小学校の改修では、小さな事業を大きくして、地元業者が入れない事業規模の設定をしている。それにも関わらず、その事業は、最低制限価格と同額での落札額であり、しかも落札が2社となりくじ引きで決定している。何度説明を受けてもなかなか疑問が解けないことを指摘しておく。

議員 現在の町の入札制度を見直す時期ではないか。

町長 近隣自治体の入札制度を参考に分析し、制度の改善に向け鋭意取り組みを進めているが、年度替わりのタイミングを念頭に努力する。

補正予算

○一般会計補正予算概要

坂元地区の排水対策を強化するため、排水ポンプ車を配備するための経費や、埋蔵文化財の試掘調査に係る経費を計上したほか、人事異動に伴う人件費の組替え分、さらには、昨年度事業の実績確定に伴う震災復興基金や、ふるさと振興基金の積立を予算化し、合計で約2億円の補正予算となりました。

●各種会計補正予算一覧 (単位：千円)

区分	現予算額	今回補正額	補正後予算額
一般会計	11,037,982	163,390	11,201,372
国民健康保険	1,854,252	△654	1,853,598
後期高齢者医療保険	192,653	2,740	195,393
介護保険	1,567,769	29,514	1,597,283
巨理地域介護認定審査会	7,428	0	7,428
水道事業会計	582,506	434	582,940
下水道事業会計	1,105,681	3,387	1,109,068
合計	16,348,271	198,811	16,547,082

○主な事業

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 8,692万円
- ・坂元地区排水対策事業（排水ポンプ車両購入費） 7,000万円
- ・災害復旧工事費の増額（山寺川災害復旧工事増額補正） 1,550万円
- ・木造住宅耐震改修工事助成事業補助金増 270万円

○主な質疑

・排水ポンプ車両購入【議案第42号】

議員 購入の理由と経緯は。

町長 最近各地で、大雨による災害が発生しており、坂元地区の排水対策としてポンプ車を今回購入することに決めた。ポンプ車の活用は、町内及び各地で起きる水害対策として利活用を検討している。



購入予定のポンプ車両（イメージ）

条例

新規

山元町スポーツ推進条例【議案第36号】

- 制定内容
 - ・スポーツの推進に関する目的、基本理念、関係者の役割等に関して、必要な項目を定めるもの。
- 施行期日（公布の日から）

一部改正

山元町子ども医療費の助成に関する条例【議案第38号】

- 改正内容
 - ・一定の基準所得額以上で助成対象外であったが、基準所得額（所得制限）を廃止、助成対象者を拡充するもの。
- 施行期日（令和4年10月1日 同日以降後の診療に係る医療費から適用）

契約

【議案第39号、議案第40号】

種類	名称	金額（税込）	落札率	相手方
新規	令和4年度 農購1号 除草用モア付きトラクタ購入事業に係る物品購入契約について	634万3,920円	80.30%	株式会社 竹内農機商会 (巨理町)
新規	令和4年度（債務）道改7号 中浜滝の前線道路改良工事請負契約の締結について	2億5,848万9,000円	91.60%	株式会社 松浦組 (柴田町)

○主な質疑

・除草用モア付きトラクタ購入事業に係る物品購入契約

議員 役場の業務のほか、行政区への貸し出しも含め検討しているのか。

課長 基本は、町の業務用として利用するが、今後行政区からの要望等がある場合には検討していく。

人事

3名の人事案件について、同意・適任としました。

教育委員会教育長【同意第3号】
菊池卓郎氏
(横山区)を同意
※任期満了に伴う再任

固定資産評価委員【同意第4号】
佐藤兵吉氏
(真庭区)を同意

人権擁護委員【諮問第3号】
庄司克哉氏
(中山区)を適任と答申
※任期満了に伴う再任

令和4年 第3回臨時会



7月21日（木）に臨時会が開催され、報告1件、議案5件、同意1件を審議し、すべて可決、同意となりました。

新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金を活用した各種事業の補正予算を中心に審議されました。

◇議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第5号	専決処分の報告について（工事請負金額の変更） * 頭無西牛橋線交差点改良工事100,100円の増額	報告
議案第31号	和解について 未承諾の私設水道管への使用補償及び水道管買い受け	可決 (全会一致)
議案第32号	令和4年度 山元町立山下第一小学校校舎改修工事請負契約の締結について * 219,806,400円	
議案第33号	令和4年度 山元町町民体育館災害復旧工事請負契約の締結について * 429,000,000円	
議案第34号	令和4年度 山元町一般会計補正予算（第3号）	同意
議案第35号	令和4年度 山元町水道事業会計補正予算（第1号）	
同意第2号	副町長の選任につき同意を求めることについて	

◇人事

副町長【同意2号】
 さとう ひょうきち 氏
佐藤兵吉
 （真庭区）を同意

◇契約

【議案第32号・議案第33号】

名称	金額	落札率	相手方	工期
令和4年度 山元町立山下第一小学校校舎改修工事	2億1,980万6,400円	92.00%	(株)八重樫工務店 (大河原町)	令和5年 3月24日
令和4年度 山元町町民体育館災害復旧工事	4億2,900万円	97.09%	菱中建設株式会社 東北支社(仙台市)	令和5年 3月24日

◇一般会計補正予算の主な事業

【新型コロナウイルス感染症対応事業】

- ・地域経済回復支援商品券配付事業（1人あたり5,000円分）…………… 6,950万円
- ・児童福祉施設副食費高騰支援事業等（町内保育所3か所）…………… 78万2千円
- ・学校給食費副食費高騰支援事業…………… 415万円

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

○障害者福祉施設の現状

調査日 6月28日

調査内容

障害者福祉施設の現状と支援内容について説明を受け、町内3箇所の施設を視察し事業内容等を調査した。

意見

- ・ 町内就労支援施設は、B型の形態で運営されているが、A型へ移行できるような町で取り組みを支援する必要がある。
- ・ グループホーム設立を求める声もあることから、社会福祉協議会など関係機関との連携を図り積極的に取り組む必要がある。
- ・ 町内に児童生徒対象の通所施設が開所されており、保護者、児童福祉施設、教育機関、行政との連携を強化し、スムーズな利用につなげるべきである。

○保育所における避難体制

調査日 7月11日

調査内容

資料に基づき、手順の説明を受け、避難訓練状況を現地調査した。

意見

現状の防災マニュアルは、今回宮城県から発表された津波浸水想定を考慮したもの

産建教育常任委員会

○学校給食運営

調査日 7月25日

調査内容

安全・安心な食材の確保、食育活動、給食室運営の現状等について調査した。

意見

- ・ 他市町村の取り組みも参考にし、地場産物食材を更に積極的に活用できないか検討すべきである。
- ・ 児童生徒が地場産物の生産者や生産過程等を理解することができる食育の機会を更に増やすべきである。

○農水産物直売所の施設管理及び運営状況

調査日 6月23日

調査内容

施設管理、運営進捗状況について調査した。

意見

来場者数や売上金額は例年を上回る実績を伸ばしている。一定の成果が上がっており、引き続き努力されたい。

○東部地区基盤整備事業

調査日 7月6日・8月9日

調査内容

東部地区の換地業務の進捗状況、補完工事等の今後の見通しについて調査した。

意見

- ・ 事業完了後の補完工事を含めた農地管理等の責任の所在が現時点においても不明であるため、国や県と協議し明確にすべきである。
- ・ 「推進調整委員会」等の各関係機関において、現場整備における問題共有を徹底すべきである。
- ・ 現在の推進体制で、今後も換地事業等の対応が出来るか不透明であるため、組織の体制強化及び庁内の連携を図るべきである。



議員の会議等出欠状況

令和4年7月1日～9月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
				伊藤貞悦	品堀栄洋	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也			
7	1	金	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—			
	6	水	産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	欠	○	—	—			
	7	木	常磐線北部整備促進期成同盟会会計監査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○			
	12	月	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	—		
			仙南・巨理地方町議会常任委員長研修	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○		
	13	火	仙南・巨理地方町議会常任委員長研修	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○			
	14	水	町村議会議員講座	○	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—		
	20	水	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	—		
	21	木	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
25	月	産建教育常任委員会	—	○	—	○	欠	—	—	○	—	○	○	—	—	—			
28	木	岩手県陸前高田市議会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○			
8	4	木	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	欠	—	—	○	—			
	9	火	産建教育常任委員会	—	欠	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—		
			JAみやぎ巨理要望書提出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○		
	10	水	町道頭無西牛橋線全線開通記念式典	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○			
	15	月	産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—		
	17	水	全員協議会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	8/17～19 仙南・巨理地方町議会議長視察研修			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○		
	19	金	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—		
	22	月	産建教育常任委員会	—	欠	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—		
26	木	全員協議会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
29	月	議会運営委員会	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○			
9	2	金	第3回議会定例会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	月	第3回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	水	第3回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	金	第3回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9/8～14 決算審査特別委員会			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
13	火	七ヶ宿町長選挙出陣式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○			
15	木	総務民生常任委員会	欠	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—			
		産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	欠	欠	—	—	—			
21	水	秋の交通安全運動出発式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—			
		議会運営委員会	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○		
22	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
28	水	全員協議会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

議長交際費

区分	7月		8月		9月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	—		—	支出なし	—	支出なし
慶弔	—		—			
その他	1,200	視察研修茶菓子代	—			
合計	1,200		—		—	

令和4年 第3回定例会 議案等の審議結果【決算関係はP2～5に記載、その他議案はP15に記載】

議案番号	議案名	結果
報告第6号	令和3年度決算山元町健全化判断比率について	報告
報告第7号	令和3年度決算山元町公営企業資金不足比率について	
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度山元町一般会計補正予算・専決第3号）	承認
認定第1号	令和3年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和3年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第3号	令和3年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第4号	令和3年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第5号	令和3年度巨理地域介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第6号	令和3年度水道事業会計決算認定について	
認定第7号	令和3年度下水道事業会計決算認定について	
議案第36号	山元町スポーツ推進条例	可決 (全会一致)
議案第37号	山元町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第38号	山元町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第39号	令和4年度 農購1号 除草用モア付きトラクタ購入事業に係る物品購入契約について	
議案第40号	令和4年度（債務）道改7号 中浜滝の前線道路改良工事請負契約の締結について	
議案第42号	令和4年度山元町一般会計補正予算（第4号）	
議案第43号	令和4年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第44号	令和4年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議案第45号	令和4年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第46号	令和4年度山元町水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第47号	令和4年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	
同意第3号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
同意第4号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

※ 議案第41号「字の区域の変更について（山元東部地区）」については、「内容を精査し、改めて議案を提案したいため」との理由により撤回されました。
 また、令和3年11月30日に提出された議案第56号「山元町健康スポーツ推進条例」については、「内容を精査し、改めて条例案を提案したいため」との理由により撤回され、議案第36号として再提出され、可決されました。

○請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第6号	生産資材価格高騰対策等に関する緊急要請書	みやぎ巨理農業協同組合 代表理事組合長 大堀 正信 宮城県農協政治連盟 JAみやぎ巨理支部長 大堀 正信	配布
陳情第7号	令和5年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのご願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布
陳情第8号	来年度（令和5年度）の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引き上げを求める陳情書	全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 小山 功	配布



被災地「笠野」からの発信 齋藤 順子（笠野区）

震災から12年が経過し、沿岸部にも少しずつ賑わいが戻ってきています。
我が家は笠野区にあり、震災で被害を受け、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされました。しかし、多くの方から暖かいご支援やご協力をいただき、震災から5年後に現地再建しました。
再建はしたものの、津波により失ったものはあまりにも大きく日常生活を取り戻すことができない状況でした。そのころに出会ったパラグライダーパイロットの「ここには何も無いね。」という一言が、私を発奮させました。資本金はない、何をしたらいいのかも考えられませんでした。『今あるもの』を生かしてできることを模索しました。
多くのボランティアの方々との出会いによりご支援やご協力をいただき、2020年から順次キャンプ場、パン屋をオープンできました。オープン以前は、やっていけるかどうか自信がなく、押しつぶされそうになりました。しかし、キャンプブームの到来、手作りパンを求め想像以上のお客様の来場に感謝しています。
今後もこの流れに身を任せ、自分のできることを精一杯頑張っていきます。一人でも多くの方が山元町に足を運び活気あふれる山元町を笠野から発信していきたいです。

◇◇◇ お知らせ ◇◇◇

令和4年 第4回山元町議会定例会（予定）

会期：12月1日（木）～12月8日（木）
開会：午前10時
本会議：12月1日・5日・6日・8日
（一般質問は、12月5日・6日です。）

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高橋 建夫	岩佐 孝子	渡邊千恵美	菊地 康彦	岩佐 秀一

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

今年も福島県沖地震、コロナ感染症等の災害対応に追われた一年です。被害を受けた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

議会では、コロナ禍により、例年通りの活動ができない状況にあり、町民の皆さまへの議会報告会や懇談会を開催できず大変申し訳なくお詫び申し上げます。

このような状況下ですが、より多くの方々に町政に参画していただけるよう、読みやすくわかりやすい「議会だより」編集に努めております。

議会では、町民の「誰もが安全安心して暮らせる町」、「活気と笑顔あふれる町」をめざして取り組んで参ります。今後とも、議会に対し叱咤激励、温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。
(委員 岩佐 孝子)